

本日の
プログラム

就任挨拶(1) 会長・幹事

退任挨拶

犬嶋清幸 会長

今年度の最終例会、退任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

今年度の予定例会39回のうち休会が14回というコロナに始まり、コロナに終わる1年間でしたが、理事役員の皆様をはじめ各委員会、委員長の皆様、全会員の皆様に多大なるご理解とご協力をいただきましたことに感謝とお礼を申し上げる次第であります。

年度当初にかかげた【歴史と伝統を感じながら、親睦を通してロータリーを楽しみ奉仕のたすきを次の世代につなげよう】という運営方針のもと、活動計画3つの増の会員を増やそう、ミーティングを増やそう、奉仕活動・行事への参加会員を増やそうは残念ながらほとんどが全滅でありました。8月に家族会、10月にはウポポイ訪問が開催出来たことは、全く先の見えない中、委員長はじめ各委員会の皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。この状況下の中、大岡委員長を始めとする会員増強委員会の強烈なイニシアティブで新会員12名という素晴らしい結果に、頭の下がる思いであります。今年度出来なかったこと、やり残したことを次の高橋・高山年度に引き継いで、また新たな歴史と伝統を築き上げていただきたいと思っております。次年度に先送りとなった3,000回例会の記念事業のひとつとして、当クラブの歴史と伝統を振り返ることと過去の社会奉仕事業の植樹についての冊子を発行することに取り組んでいる最中でもあります。この1年間の会員皆様のご支援に改めて感謝を申し上げますと共に、矢面にたつてコロナ禍でのクラブ運営に大変ご苦勞をされた岡澤幹事にお礼を申し上げて、退任のご挨拶とさせていただきます。

岡澤幹事 あなたで良かった！

皆様、1年間本当にありがとうございました。

岡澤邦幸 幹事

本年度を振り返るとコロナ対応に追われた1年でした。1/3は残念ながら休会となり2/3は皆様と集えたことは本当に嬉しく思いますし私の誇りです。本日が最終例会ですが、会員の皆様、パークホテルの皆様、犬嶋会長をはじめとする役員理事の皆様、そして塩谷さんに1年間支えていただき、何とか無事に終わることが出来そうです。本当にありがとうございました。年初の幹事挨拶で、3つのお願いをしました、その中の2つを振り



返りたいと思います。

①例会に出席してください。とお願いいたしました。例会出席率はその年の会長支持率であり、昨年の川幡年度の出席率は69.17%、犬嶋年度は本日は含めておりませんが66.75%と、若干落としました。コロナ禍であることを考えますと胸を張れる犬嶋会長支持率です。この支持率は会員の皆様のご出席のお陰です。次年度の高橋会長の支持率もよろしくをお願いいたします。

②2つ目は会員増強のお願いです。コロナ禍で大岡委員長の大活躍と会員皆様のご協力でなんと「12名もの」新会員をお迎えすることが出来ました。感謝の気持ちで一杯です。12名の「仲間」と一緒に、未来の札幌東ロータリークラブを創り上げたいと思います。今後共ご指導をお願いいたします。1年間本当にありがとうございました。

池田 薫 副会長

今年度、犬嶋会長の活動計画は3つの増、1. 更なる会員を増やそう 2. 充実したFSMを増やそう 3. 奉仕活動・各行事への参加会員を増やそう、でした。しかしながらコロナ禍の影響が予想していた以上に厳しく、例会・FSM・各行事が大きく制約された年度となりました。そうした中で11委員会、それぞれ限られた状況の中、努力され出来ることを行ったと思っております。改めて感じることで、コロナ禍真っ只中でのロータリーライフを経験し、とても印象深い1年間となりました。



小山 茂 副会長

犬嶋年度で、出来た仕事を3つ報告させていただきます。

- 1) 夏の残暑家族会ではお開きの言葉を長々と話し、ご迷惑をおかけしました。
- 2) 10月の職業奉仕で実施したノーザンホースパークでの移動例会、およびウポポイ視察、第一滝本館宿泊、翌日は大荒れの天気でもゴルフは中止となりましたが、みなさんとの交流は忘れられない思い出となりました。日本旅行清水会員には深く感謝する次第です。
- 3) 最後は、会員の皆様に札幌大学でご講演いただいたことです。学生に皆様から熱い思いを伝えていただき、本当に感謝申し上げます。先ほど次年度高橋会長年度の職業奉仕委員長・副会長の清水会員と話をさせていただき、次年度もご協力いただけることになると思います。皆様よろしくをお願いいたします。



■本日のロータリーソング
君が代、四つのテスト

2021~2022年度 国際ロータリーのテーマ
「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」
国際ロータリー会長：シェカール・メータ